

第39回「道路橋点検士技術研修会」のご案内

(一財) 橋梁調査会

(一財) 橋梁調査会では、これまで、68回の橋梁点検技術研修会と34回の道路橋点検士技術研修会を開催し、基本知識及び現地実習の試験に合格した延べ約14,300名の点検技術研修修了者を養成するとともに、平成26年度からは「道路橋点検士」、平成27年度からは「道路橋点検士補」の認定を始めており、平成31年1月までに道路橋点検士6,751名、道路橋点検士補1,020名を認定しました。これらの技術者は、国をはじめ地方公共団体における道路橋の点検業務での活躍が期待されています。

今後、高度経済成長期に集中的に建設された道路橋が急速に高齢化し、それに伴い損傷も急速に進展していくものと考えられており、従来にも増して点検技術者が必要とされています。道路橋点検士技術研修会は、資格取得に必要な要件の一つとなっていますので、道路橋点検の実務に積極的に携わろうとする意欲的な方々の参加をお待ちしています。

記

I. 内容

1. 目的

「橋梁定期点検要領(案)」(国土交通省国道・防災課)を正しく理解して、道路橋の損傷状況を把握し、その結果を記録することのできる橋梁点検技術者の養成を目的とします。

2. 日時

2019年10月8日(火)13時00分～10月10日(木)16時10分(3日間)
(受付は初日12時00分からとなります)

3. 会場

川口市民ホール「フレンジア」(JR川口駅に隣接した「キュポ・ラ本館棟4階」)

所在地：埼玉県川口市川口1-1-1

最寄駅：JR京浜東北線「川口駅」東口徒歩2分

その他：ホール内(廊下を含む)での「持込物の飲食は禁止」です。

4. 現地研修会場

堀切橋 (足立区)

最寄駅：東武伊勢崎線「堀切駅」徒歩5分

市民ホール「フレンジア」から堀切橋の集合場所までは、「川口駅」→「田端駅」・「西日暮里駅」・「北千住駅」乗換→「堀切駅」下車。 所要時間：約70分

5. 講義内容

別紙「研修会プログラム」参照

6. 受講資格 (必読)

道路橋点検士・道路橋点検士補になるには、研修会に参加するに当たり、道路橋に関する基礎的知識を有している必要があるため、次の各項のいずれかを満たしていることが必要です。

- (1) 大学院・大学卒業後 **指定学科 3年(指定学科以外 5年)以上の橋梁に関する実務経験**を有すること
- (2) 短大・高卒後専門学校・高専卒業後 **指定学科 5年(指定学科以外 7年)以上の橋梁に関する実務経験**を有すること
- (3) 高校・中卒後専門学校卒業後 **指定学科 7年(指定学科以外 9年)以上の橋梁に関する実務経験**を有すること
- (4) その他の学歴につきましては、担当までご相談下さい。(中卒は12年以上の実務が必要です)
- (5) 上記(1)～(3)における指定学科とは、土木工学、農業土木学、鉱山土木学、都市工学、衛生工学、交通工学または緑地・造園学に関する学科をいう。
- (6) 他の技術者資格の取得者における「橋梁に関する実務経験」記載の省略については、「(一財)橋梁調査会の道路橋点検士パンフレット」の「道路橋点検士」資格の概要「道路橋点検士技術研修会の受講資格」をご覧ください。

7. 定員

180名

8. 受講料

50,000円/名（消費税込み、昼食代は含みません）

なお、当調査会の賛助会員につきましては、各研修会につき所属する社員1名を35,000円（消費税込み、昼食代は含みません）とします。（※今回は追加開催のため優待券を発行しておりません。受講者が複数名いる場合は、申込みの受付番号が早い方の受講料を割引させていただきます。）

9. 筆記試験

最終日に現地実習問題、基本知識問題の試験を行います。

基本知識問題の試験は、以下のカテゴリーから出題します。

- ①道路橋維持管理の心構え
- ②道路橋維持管理に関する法令
- ③橋梁定期点検の考え方
- ④橋梁の基本構造
- ⑤橋梁の損傷
- ⑥点検の安全管理
- ⑦橋梁の設計・施工
- ⑧計測機器・非破壊試験機器

10. 修了証（試験結果）

研修会終了2ヶ月後を目処に、全講義を受講し（遅刻、早退は原則として認めません）、かつ筆記試験に合格された方には「道路橋点検士技術研修修了証」を交付し、不合格の方には「不合格通知」を送付します。

筆記試験の合否判定は当調査会の定める判定基準に基づいて行いますが、その内容についてはお答えできませんので、あらかじめご承知下さい。

11. 道路橋点検士及び道路橋点検士補

「（橋梁調査会 認定）道路橋点検士」を取得・登録するには、上記「道路橋点検士研修会」修了証と所定の実務経験を記載した「道路橋点検士業務経歴証明書」を提出する必要があります。

所定の実務経験とは、平成16年度以降における既設道路橋の点検・診断に関する1年以上の実務経験（道路管理者においては、平成16年度以降における点検・診断を含む既設道路橋の維持管理に関する2年以上の業務実績）が必要となります。

また、道路橋点検・診断等に関する実務経験が無い方及び不足している方は、道路橋点検士補に申請することができます。

申請方法は、当調査会ホームページ「道路橋点検士登録申込」「道路橋点検士補登録申込」欄をご覧ください。

II. 応募

1. 応募方法

(1) 応募受付日時 7月30日（火）の9:00～10:00の1時間。

(2) 応募者が定員を超えた場合は抽選で受講可能者を決定します。

受講の可否については、8月5日（月）頃までに、Eメールで通知します。

(3) 受講可能の通知を受けた方は、当調査会のホームページから「業務経歴証明書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ上司の証明印および自身の認印を添えて、下記事務局まで郵送して下さい。

また、下記①②を業務経歴証明書と合わせて研修担当まで郵送して下さい。

① 「受講票」に貼付する顔写真1枚

（サイズ横25mm×縦30mm、カラー写真が望ましい、裏にフルネームを記入のこと）

② 「修了証」送付用の返信用封筒（サイズ12cm×23.5cm（定型封筒））

（送り先を必ずご記入下さい、82円切手貼付）

【送付期限：8月14日（木）17:00まで（必着）】

期日までに「業務経歴書」が事務局まで届かない場合や押印忘れ・記入漏れがあった場合は、応募完了となりませんのでご注意ください。（押印、学校名等、記入漏れがないか、発送前にご確認ください。）

※「業務経歴証明書」は民間技術者の方も道路管理者の方も提出して下さい。

2. 受講資格の確認

事務局では提出いただいた「業務経歴証明書」にて、**受講資格**（橋梁に関する実務経験期間：前項

I. 内容 6. 受講資格 参照）を確認させていただきます。

郵送していただきました業務経歴証明書は返却致しませんのでご了承ください。

III. 受講の手続き

1. 受講案内書と請求書

受講資格の確認ができた方には、8月19日（月）頃、「受講案内書」と「請求書」をEメールで送付します。

2. 受講料の納付

(1) 受講料を8月30日（金）までに、当調査会の指定銀行口座へ振り込んで下さい。

詳細は、Eメールで送付する「受講案内書」および「請求書」をご覧ください。

なお、道路管理者の方は研修会受講後に請求書を郵送致します。（納付期限11月8日（金））

(2) 入金後のキャンセルについては、9月24日（火）17時00分までに連絡いただいた場合のみ、受講料をお返しします。（振込手数料は受講者の負担となります。）

3. ご注意

(1) **申込者及び受講者の変更はできません。**

(2) 研修2日目の現地会場への交通費（川口～堀切）が別途必要です。

(3) 宿泊、昼食は各自でご用意下さい。

IV. 注意事項

応募書類に虚偽の記載をするなどの不正があった場合は、研修修了証を返納していただき、2年間、研修会の受講ができなくなります。

J-BEC

一般財団法人 橋梁調査会 企画部 研修担当

〒112-0013 東京都文京区音羽2-10-2 日本生命音羽ビル8F

TEL 03-5940-7746（直通） FAX 03-5940-8099

（お問い合わせは平日の10:00～12:00、13:00～17:00まで）